



《 例会 》 毎月第 2 水曜日 19:00~21:00 若松栄町教会 (☎ 0242-27-3944)

2016~2017 年度主題

International President :Joan Wilson (カナダ)
 "Our Future Begins Today" 「私たちの未来は、今日より始まる」
 Asia Area President :Tung Ming Hsian (台湾)
 "Respect Y's Movement" 「ワイズ運動を尊重しよう」
 東日本区理事 利根川恵子 (川越) 「明日に向かって、今日動こう」
 北東部部長 長岡正彦 (もりおか) 「明日のために、いま土台を築こう」
 会津クラブ会長 青山孝男 「明日を楽しく、共に歩もう！」

<No.264 会津通信>
 2017 年 4 月 12 日発行

会 長	青山孝男
副会長	高橋眞美
書 記	高橋真人
会 計	高橋真人

◇4 月の聖句 ◇

イエスご自身が彼らの真ん中に立ち「あなたがたに平和があるように」といわれた

ルカ福音書 24 : 36

4 月例会プログラム

司会；高橋 真人 ㊦

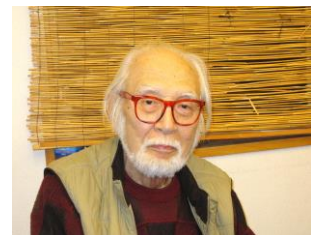
1. 開 会 点 鐘 青山孝男会長
2. ワイズソング 一 同
3. 会長あいさつ 青山孝男会長
4. 連 絡・報 告 青山孝男会長
5. 聖句朗読 高橋 カ㊦
6. 食前感謝 高橋 カ㊦
7. 会 食
8. 懇 談 「LT トーク」
9. Happy Birthday! Happy Anniversary!

あかべこ

10. 閉 会 点 鐘 青山孝男会長

「取り潰された教会」

高橋 力



治安維持法によるキリスト教会弾圧はここ会津若松市内でもあった。全国的に同じだったが、日曜の礼拝は宮城遥拝をもって始められ、礼拝出席者は丹忠牧師夫妻と特別高等警察官の 3 名ということが続いた。説教から国体批判等の反国家的危険思想を監視し、克明な説教メモをとりそれを根拠に警察へ召喚するためであった。あらぬ嫌疑で尋問された。「お前の栄町教会の高い床下に通信機器があり塔には米国などへの発信器が備えられている」

取り潰された教会もある。旧満州から引揚者であるぼくは千葉県巖根 (いわね) の引揚者住宅で過ごしながら木更津中学に通った。そして母親に連れられて日本基督教団木更津教会の通うようになり BGCA (Boys and Girls Christian Association) で同級生 K と出会う。偽悪者という印象を抱かざるを得ない少年だった。ぼくは 1950 年受洗直後の夏家族共々東京へ移住。大井町教会で育てられ、東京神学大学を経 59 年猪苗代町の川桁伝道所の牧師になった。5 年後若松栄町教会に転じた。K から来訪の連絡があって彼の父親がセブ

<3 月例会出席状況>

在 籍 者 5 名 ゲスト 0 名
 出 席 者 5 名

*出席率 100%

あ か べ こ 5,000 円
 16-17 年度合計 34,000 円

☆ 強い義務感を持つよう 義務はすべての権利に伴う。 ☆

ンスデーアドベンチスト会津若松教会の牧師だったことを知り驚いた。彼は「おれはペテロだ」と言った。信仰的な使徒ペテロではなくキリストを見捨てた裏切り者だとの表現と知ったのは眩く様なこの話しをきいてからだ。当時の和地牧師は連日のような特高の過酷な取り調べを受け精神的な衰弱は甚だしかった。見かねた長男 K は父親に「もうキリスト教なんて止めてしまえ！」と叫んだ。これが小学校の校長になっても彼の生涯抜けない心に刺さった棘になっていた。彼は市内の藤室の縁のある人だった。

来訪した K とかつてこの教会があったところを彷徨ったが分からないままに彼は帰京した。旧町名大工町の小林写真館で撮影の用があって直接ご主人に聞く機会があった。「その教会があったのはここですよ」と撮影室で教えられ驚いた。これが現在、徒之町にあるセブンスデーアドベンチスト会津若松教会である。電話でこの知らせをと連絡したがあの棘が刺さったままで K はすでにこの世にはいなかった。会津高田教会の故遠藤栄牧師はあの「玉音放送」を聞いた時、下駄音を響かせながら街頭を踊り回ったと言う。戦中の特高の監視、尋問などの話しを冗談まじりに語りながら解放の喜びを語ってくれた。

あの弾圧は無数の棘を生んだ。いま「共謀罪」によって監視され、取り締まられる状況の招来を許さないために政治を見張る眼差しを深めねばならない。

(5月号は、高橋京子さんです)

東日本区より

理事メッセージ

いよいよ桜の季節となり、春爛漫も間近となりました。学校や職場では新年度が始まり、新しい気持ちで4月をお迎えになった方も多いと思います。ワイズ年度は最後の四半期に入ります。ラストスパートです。私も理事として掲げた目標を達成すべく、最後まで力を振り絞ってまいります。クラブ会長、部長、部主査、区事業主任等、それぞれの立場で立てた目標の達成に追い込みをお願いいたします。そして次期に引き継ぐべきことをきちんと整理してお渡ししたいものです。みなさまのご尽力に期待いたします。

東日本区大会にご参加を！

第20回東日本区大会も2か月後に迫りました。実行委員会では、川越らしいおもてなしを追求し「温故知人」のテーマの具現化をいかに図るかなど、準備も佳境に入ってまいりました。

ご承知のように、同大会の申し込み期限は4月15日です。3月31日現在の登録者数は171名です。まだ

ご登録いただいていない方は、至急お願いいたします。多くのおみなさまのご参加を心からお待ちしております。

会津の先人たち (会津若松市 HP より)

東京帝国大学総長・貴族院議員

山川 健次郎 やまかわ けんじろう
(1854~1931)

最初の理学博士

藩が斗南(となみ)で再興され、健次郎は18歳で政府のアメリカ留学生に選ばれました。エール大学で物理を学び、22歳で学位を取得。帰国後は、東京開成高校で教鞭を取りました。東京大学に改組されると、26歳で最初の物理学教授となります。

健次郎は、実験器具の整備や学生の指導など物理学教育の基礎を築きました。

東京帝国大学総長

48歳で総長となり、4年後の明治38年には、政府を非難した教授が処分を受け、教授たちが大学の自治を求め決起する事件(戸水事件)が起きました。健次郎は、自ら辞任することで混乱を治めました。その後、現九州工業大学の総長となり、さらに九州、東京、京都の各帝国大学の総長を務め、揺れ動く大学教育の維持に努力しました。

「京都守護職始末」

健次郎は、育英のため会津学校会の設立や、上京して就学する会津の学生のための寮(至善寮)の建設など、人材の育成に力を尽くしました。さらに、兄浩が残した「京都守護職始末」を完成させ、幕末における会津藩の立場を明らかにしています。

昭和6年(1931)78歳で亡くなりました。

(次号は女性の自立を求めた文学者 若松賤子氏)

◆ 今後の予定 ◆

- ◇ 5月例会
5月13日 午後2時~
ゲストスピーチ例会
二瓶孝也氏(会津中央乳業社長)
テーマ「私の戦争体験記」
- ◇ ユニークダンス5月例会
5月24日 午後7時~
場所： 障がい者支援施設アガッセ



